

御坊市北吉田

舞踊、詩吟、銭太鼓、象鼻杯

舞妃蓮の郷公園観蓮会にぎわう

御坊市藤田町の北吉田蓮保存会(佐竹成公会長)は17日、吉田八幡神社近くの「舞妃蓮の郷はす公園」で第3回観蓮会を開き、地域住民らが満開に咲き誇る舞妃蓮を観賞しながら舞踊や詩吟、銭太鼓を観覧。象鼻杯体験、果托飛ばし大会もあり、にぎわった。

佐竹会長は「このようにたくさんの方が咲いてくれて感無量。きれいな舞妃蓮を見ながらイベントを楽し

んで下さい」とあいさつ。池中央の東屋で日高川踊り保存会が「みやこ姫音頭」を踊り、紫洲流日本明吟会や和歌山本部が合吟「有感」や独吟「静夜思」贈汪倫、美浜友遊くらぶが「鞠と殿さま」おけさ唱えば」など3曲にあわせて銭太鼓を披露。最後に日高川踊り保存会が「大賀蓮によせて」を踊った。来園者は遊歩道沿いの棧敷席に腰をかけたながら観覧した。

保存会は蓮を通しての情操教育やまちおこしに努めようと、平成28年6月に日本庭園風の「舞妃蓮の郷公園」をオープン。今回は24日午後6時50分から古典芸能の夕べを開き、御坊喜長会が謡の夕べ、箏曲研究会菊明会が琴演奏、御坊樂処和雅楽が雅楽演奏を披露。小野俊成道成寺住職が「蓮と仏法と」をテーマに講演する。



舞妃蓮に囲まれた東屋で民謡踊りなど発表